



カナダの家族支援に学ぶ 2016
Academic collaboration with Ryerson University

7/16
± 13:00~

浦和大学こども学部開設10周年記念

第3回 浦和大学 国際セミナー

“Creative Challenges of Family Support” — 家族支援における創造的挑戦 —

4年後に東京オリンピック・パラリンピックを控え、また直近の四半世紀のうちに国土が3度の大地震に見舞われたわが国では、家族の多様性や家族と地域社会とのつながりが、社会の価値や活力、強さとして意味を持つことが期待されています。

カナダ・オンタリオ州トロントにおいて第一線で活躍する二人の研究者と、「さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」を策定し、子育て支援事業を推進する清水勇人市長をお招きし、家族支援の取り組みが社会にもたらす可能性を発展的に探りたいと考えます。関心のある方、どなたでもふるってご参加下さい。

2016年 7月16日 ± 13:00~16:00

浦和ワシントンホテル 3階プリムローズ

定員 200名 参加費 無料

■ オープニング・セレモニー

〔演奏〕 出口雅生(浦和大学) 金淵洋子(ハープ奏者・浦和大学非常勤講師)

■ 特別講演 (13:10~13:30)

さいたま市長 清水勇人

『国際都市・さいたま市の可能性』

■ 基調講演 (13:35~14:20)

Dr. Mehrunnisa Ahmad Ali (ライアソン大学教授)

『Encounters with Uncertainty : Nurturing the Creative Spirit

多様化する家族との出会い —創造的実践力を養う— 通訳 梶佳恵

■ シンポジウム (14:30~16:00)

シンポジスト Catherine Moher (ライアソン大学)

船木 美佳 (浦和大学)

五十嵐裕子 (浦和大学)

コーディネーター

伊志嶺美津子 (元浦和大学)



JR浦和駅西口 徒歩3分

主催 浦和大学

共催 さいたま市

後援 カナダ大使館 埼玉県 NHKさいたま放送局 埼玉新聞社 テレビ埼玉 REDS WAVE 87.3FM 九里総合福祉文化研究所

お申込み・お問い合わせ 浦和大学こどもコミュニティセンター 事務室

TEL・048(878)3746 FAX・048(878)3944 E-mail・kodomo@urawa.ac.jp http://www.urawa.ac.jp/

※参加ご希望の方は、7月15日(金)までにお申込下さい。裏面に申し込み要領があります。 ※託児はありません。

前日(7月15日)には専門職の方向けワークショップ(30人定員)があります。詳しくは裏面をご覧ください。

特別講演



清水 勇人

Hayato Shimizu

昭和63年 松下政経塾卒塾(第7期生)
平成15年 埼玉県議会議員(南第6区)
平成19年 埼玉県議会議員(南第6区)
平成21年～現在 さいたま市長
(主な著書)
「2010年霞ヶ関物語」(共著/二期出版)
「繁盛の法則」(共著/TBSブリタニカ)
「犯罪のない安全なまちをつくろう」(共著/埼玉新聞社)
「さいたま市未来創造図マインドリム100年構想私案」(共著/埼玉新聞社)

基調講演



Mehrunnisa Ahmad Ali

メヘルンニサー・アーマッド・アリ

ライアソン大学教授・大学院アソシエイト・ディレクター
博士(教育・社会政策)

教育プロジェクトの開発と評価の分野で
広い経験を持ち、新規定住のこどもと家
族、多様な社会構成員に対するサービス
提供者の準備課題などの研究テーマに
取り組んでいる。

シンポジスト



Catherine Moher

キャサリン・モハー

ジェラルド・リソースセンター・マネージャー、
チャンススクール(ライアソン大学生涯学習スクール)
家族支援者資格の学習コーディネーター

オンタリオ家族支援研究所やカナダ家族支
援プログラム組織の委員を務め、保育・家族
支援の専門家を対象としたワークショップや
セミナーなども広く行っている。

シンポジスト



船木 美佳

Mika Funaki

浦和大学こども学部教授

創作活動と教育の現場で、アートを基軸に、
個人が自己の深いところで繋がり、それを尊
重しあえるコミュニティの意識づくりを目指し
ている。

シンポジスト



五十嵐 裕子

Yuko Igarashi

浦和大学こども学部准教授
こどもコミュニティセンター長

長年にわたり保育士の養成に携わる。子育て
観や家族観を踏まえながら、家庭的保育制度
についての研究に取り組んでいる。

コーディネーター



伊志嶺 美津子

Mitsuko Ishimine

元浦和大学こども学部教授
NPO法人「子ども家庭リソースセンター」理事
ノーバディズ・パーフェクト部門代表

通 訊

楯 佳恵

Yoshie Tate

ライアソン大学で保育・幼児教育・家族支援を学び、トロントの保育園や
ドロップインセンターなどでの勤務経験を持つ。

【 ワークショップのご案内 】 (アドバンス・コース)

このワークショップは、実際に子育て・家族支援に携わっている方を対象とするアドバンス・コースです。

7/15 金 14:00～17:00 浦和大学2号館大会議室

定員 30人 費用 無料
定員になり次第締め切らせていただきます。

「Opportunities and Challenges in Family Support 家族支援における可能性と課題」

ライアソン大学ジェラルド・リソースセンター・マネージャーのCatherine Moher氏と共に、カナダ・オンタリオ州の家族支援の多くの事例を検討します。
家族支援者が直面する数々の政策変更と難問の中で、たくさんの創造的な方法が見出せるとMoher氏は言います。このワークショップは参加者が
自身のプログラムでの経験を話し、その課題を克服する創造的な方法を探る機会を提供します。参加された方には修了証を発行いたします。

両日とも参加された方には、「浦和大学こども学部 家族支援ファシリテーター養成講座X」の修了証を発行いたします。

申し込み要領

浦和大学ホームページに「浦和大学国際セミナー申込」バナーを設置いたしますので、リンク先にある申込フォームに沿って必要事項を入力してお申
込いただくか、浦和大学こどもコミュニティセンター(kodomo@urawa.ac.jp)宛に必要事項(①「氏名」及び「ふりがな」②勤務先などの「ご所属」
③通常連絡が取れる「E-mailアドレス」及び「電話番号」④「7月15日/7月16日/両日」のいずれかの「参加希望日」)をご記入の上、件名に「国際セ
ミナー参加申込み」と明記して送信してください。